

療養費取扱適正強化講習会が行われました

7月17日(日)に(公社)大阪府鍼灸師会と(一社)鍼灸保険協会大阪共催の「療養費取扱適正強化講習会」が大阪府鍼灸師会館で行われました。Zoomでのライブ配信も行われており、多くの会員がライブ配信での受講を選択されていました。日本鍼灸師会 健保副委員長の平野健一先生より、あはき療養費の料金改定について(令和4年6月～)、療養費に関する受領委任の取扱い一部改正について、療養費の取扱いに関する疑義解釈資料の一部改正についてなどの説明がありました。生保・労災の取り扱い留意事項は、森下民生労災委員長より、生活保護法等指定施術機関の事務手続きの変更、生保医療扶助の運用上の流れや取り扱い方、添付書類の記入方法の説明などがありました。17日に受講出来なかった会員には、後日、アーカイブ配信が設けられますので、是非とも受講されますようお願いいたします。



(公社)大阪府鍼灸師会 主催

令和4年度 8月度霊枢勉強会夏季特別講義のご案内(ハイブリッド開催)

年に一度の霊枢勉強会夏季特別講義となります。事前申込制で会館受講とWEB受講を選択できるハイブリッド形式となっております。(状況によりましては、WEB受講のみとなる場合もございます)下記の要綱をご覧ください、申込みフォームよりお申し込み頂きますようお願い申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】令和4年8月14日(日)10:00～12:00

【会場】大阪府鍼灸師会館3F、もしくはWEB受講(ZOOMミーティング利用)

【演題】・霊枢勉強会夏季特別講義「蔵府・経脈・腧穴の関連性について」

講師：篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

【受講料】

会 員：1,000円(日鍼会・大鍼師会・大柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む)

会員外：2,000円 学生：無料

※会費種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい

【参加申し込み方法】先着順(会館参加 20名 WEB参加 300名)

・会館受講希望

下記QRコード(Googleフォーム)・当会ホームページから事前参加申し込みを行ってください。

(受講料は当日お支払いください。)

・WEB受講希望

下記QRコード(Googleフォーム)

・当会ホームページから参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお支払い下さい。申込み、振込み締切は8月11日(木)です。

【振込口座】受講料は、下記の口座へ、お振り込みにてお願いいたします。

ゆうちょ銀行 00950-3-145677

口座名義：公益社団法人 大阪府鍼灸師会

(↓他金融機関からの振込用口座番号)

〇九九(ゼロキュウキュウ)店(099) 当座 0145677

口座名義：公益社団法人 大阪府鍼灸師会

※手数料は参加者負担となります。ご了承ください。

※申し込みは、事前参加申し込みと、入金の確認(WEB受講)で完了となります。

WEB参加の方は、参加申し込みと受講料お支払い後、運営からメールにて当日の「ZOOMミーティングURL」と「講義資料」、「Webセミナー利用手引き書」をお送りいたします。手続きに多少のお時間を頂きますので早めのご入金にご協力ください。

資料につきましては必要に応じて各自印刷を事前に行っていただくようお願いいたします。

【取得単位】(公社)大阪府鍼灸師会生涯研修〈2単位〉

(公財)東洋療法研修試験財団生涯研修講座〈2単位〉

《WEBセミナー受講上の諸注意》 詳細は「WEB聴講利用手引書」を大阪府鍼灸師会ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください

8月度霊枢勉強会夏季特別講義

お申込みQRコード



ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』まで
連絡先：TEL 06-6351-4803 FAX 06-6351-4855
E-MAIL：study@osaka-hari9.jp(研修委員会 荒木)

Study
学

● 日 時：令和四年（2022年） 6月12日（日）
第15回
● 会 場：大阪府鍼灸師会 会館3階
● 出席者：会員25名(内Web16名) 一般15名(内Web6名) 学生9名(内web8名)

● 霊枢勉強会報告

● 講師：日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

＊6月度は会場19名、ネット配信での受講が30名でした。

○『黄帝内経靈樞』官針（かんしん）第七・第六章

○01 凡（およ）そ刺（し）に五つ有り、

02 以（もつ）て五藏に應（おう）ず。

＊五藏（ごそう）に対する刺法について述べる。

○03 一（いち）に曰（いわ）く、半刺（はんし）。04 半刺は、

05 浅（あさ）く内（い）れて疾（と）く針（はり）を發（はつ）す。

06 針、肉（にく）を傷（やぶ）ること無（な）かれ。07 毛（け）を抜（ぬ）く状（かたち）の如（ごと）し、08 以（もつ）て皮氣（ひき）を取る。09 此（こ）れ肺の應（おう）なり。

（解説）

＊半刺（はんし）は、からだの浅い部分を刺せ、と言う。そして肉の深さまで鍼を進めてはいけないと言う。皮膚の表面で鍼を動かして鍼を出せと言う。

＊半刺という名前は一の半分ということを示唆する。ちょっと刺すのだと言う。毛を抜くみたいにと言う。刺すのは浅く浅くということである。

○10 二（に）に曰（いわ）く、豹文刺（ひょうもんし）。11 豹文刺は、

12 左右前後、之（こ）れに針（はり）し、13 脈に中（あた）るを故（ゆえ）と爲（な）す。14 以（もつ）て経絡（けいらく）の血（ち）ある者を取る。15 此（こ）れ心（しん）の應（おう）なり。

（解説）

＊「豹文刺」は、「ひょうぶんし」か「ひょうもんし」か。「ひょうもん」と読んでいる例が多いので、ひとまず「ひょうもんし」と読んでおく。

＊左右前後と言うのであるから、経脈の左右前後であろうか。左手、右手というのもあるし経脈の前、後とも考えられようか。

＊「脈にあたって、経脈の血あるものを取る」と言うのであるから、出血させないといけなのだろう。

＊「心の應なり」は、心（しん）に影響

を与えるということである。

＊刺法名の「豹文（ひょうもん）」について楊上善（ようじょうぜん）という人は「左右前後の針瘡（しんい）、状（かたち）豹文（ひょうもん）の若（ごと）し」、ヒョウの文様のようにになっているから、と注を入れている。張介賓（ちょうかいひん）という人は、それを多いという意味だと解釈するが、どうも多いという意味だけでは納得できない。

＊13節の「脈に中（あた）るを故（ゆえ）と爲（な）す」の「故」は『呂氏春秋』知度「非晉國之故」の注「故、法（しきたり）」により解釈し「道理」「ことわり」と解した。

○16 三（さん）に曰（いわ）く、關刺（かんし）。17 關刺（かんし）は、

18 直（ちよく）に左右、筋を盡（つ）くす上（うえ）を刺して、

19 以（もつ）て筋痺（きんひ）を取る。

20 慎（つつし）みて血（ち）を出（い）だすこと無（な）かれ。21 此（こ）れ肝（かん）の應（おう）なり。

（解説）

＊18節の「直（ちよく）に左右、筋を盡（つ）くす上（うえ）を刺して」というのはどういうことであろう。「左右」というのは左右の四肢だという説がある。また左右の四肢の関節という説もある。「筋を盡（つ）くす」というのは、関節の部分を指しているという説がある。

＊＊当日配布資料43ページより引用 張介賓曰、「關、關節也、左右四肢也。【關（かん）、關節（かんせつ）なり。左右の四肢なり】 盡筋、則關節之處也。【筋を盡（つく）す、則（すなわ）ち關節（かんせつ）の處（ところ）なり】」

＊ここでわかることは、一の皮、二の脈、三の筋と、一から二、三に至ってだんだんと鍼の刺す深さが深くなっているということだ。＊20節から21節にかけて「慎（つつし）みて血（ち）を出（い）だすこと無（な）かれ。此（こ）れ肝（かん）の應（おう）なり」と言っている。これは肝が血に関係しているからという

ことだろう。

○22 或（ある）いは淵刺（えんし）と曰（い）う。23 一（いち）には豈刺（がいし）と曰（い）う。（解説）

＊淵刺（えんし）は『太素經（たいそきょう）』という本では、「開刺（かいし）」となっている。豈刺（がいし）に関しては色々な考察がある。豈刺（がいし）の豈（がい）の字は「輪」と同じという解釈もある。

淵刺（えんし）も豈刺（がいし）も關刺（かんし）の別名というには、あまりふさわしくないように感じる。

○24 四（し）に曰（いわ）く、合谷刺（ごうこくし）。25 合谷刺は、26 左右（さゆう）鶏足（けいそく）のごとくに、

27 分肉（ぶんにく）の間（かん）に針して、

28 以（もつ）て肌痺（きひ）を取る。

29 此（こ）れ脾（ひ）の應（おう）なり。

（解説）

＊「合谷刺（ごうこくし）」の名義について、張介賓（ちょうかいひん）は「三四攢合（さんよんさんごう）し、鶏足（けいそく）の如くなり」と言っている。にわたりの足みたいにくいつもの爪がある状態だということであろう。彼は個々の文字については解釈していない。その後の注に「邪（じゃ）は肉間（にくかん）に在（あ）って、その氣（き）廣大（こうだい）なれば、合刺（ごうし）に非（あら）ざれば、可（か）ならず」と言う。ここで「合刺（ごうし）」という言葉を使っている。楊上善（ようじょうぜん）という人も「分肉（ぶんにく）の間（かん）の氣を合わせるをもって」と言っており、これを「合刺（ごうし）」の由来だとする。とすると「合谷刺（ごうこくし）」とは「合刺（ごうし）」のことかもしれない。

○30 五（ご）に曰（いわ）く、輪刺（ゆし）。31 輪刺は、32 直（ちよく）に入れ直（ちよく）に出（い）だして、33 深く之（こ）れを内（い）れて骨（こつ）に至り、

34 以（もつ）て骨痺（こつひ）を取る。

35 此（こ）れ腎（じん）の應（おう）なり。

（解説）

＊「直（ちよく）に入れ直（ちよく）に出（い）だす」というのは「鍼をまっすぐに入れて、まっすぐに出す」ということである。「深く之（これ）を内（い）れて骨（こつ）に至り」ということなので、鍼を骨（こつ）に至るまで目いっぱい深く刺し入れると言っているのであろう。

＊「輪刺（ゆし）」については、すでに第三章・九變（きゅうへん）に應ずる刺法で述べられているように、本篇のあちこちに出て来る。都合三か所にその言葉が見える。第三章では、背部俞穴などに刺せというものであるのに対して、他の章の「輪刺」は手技手法に関わるものである。

＊＊第三章より「輪刺」の部分を抜粋

03 一（いち）に曰（いわ）く、輪刺（ゆし）。04 輪刺は、05 諸經（しよけい）榮輸藏腧（けいゆそうゆ）を刺すなり。

【さらに勉強したい方のために】

京都大学貴重資料デジタルアーカイブ (<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp>)

渋江抽斎⇒ 検索 黄帝内経靈樞24巻首1巻で『靈樞講義』のマイクロフィルム画像を見ることが出来ます。

＊次回は8月14日（日）10時～12時、大阪府鍼灸師会館で八月恒例の特別講義です。

『蔵府・経脈・俞穴の関連性について』と題して、篠原先生にお話頂きます。夏の一時、お誘いあわせの上、ご参加頂けるとうれしいです。

（

靈樞のテキストは現在3冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受付けにてお問い合わせください）

（靈枢勉強会世話人 東大阪地域 松本 政己）

令和4年度 第2回（7月度）学術講習会報告（配信会場：大阪府鍼灸師会館）
講演①「発達障害を理解しよう」
講師：昭和大学発達障害研究所副所長 中村 元昭 先生

今年度 2 回目の学術講習会は、精神疾患の中でも特に「発達障害」をテーマにオンラインで開催いたしました。

講師の中村先生は、精神科医でありながら鍼灸の臨床研究にも取り組まれ、全日本鍼灸学会でも数多くのご講演をされています。

鍼灸臨床の中で、発達障害に対しては、まだまだ未知の分野でもあります。その中でも今後我々鍼灸師が関わっていくべき領域の一つとして、発達障害の基礎知識を学びました。

まず、精神医学の中で疾患をどのように診断するのかという総論ですが、精神医学が始まった当初は、記述的モデル（現象学に基づいた臨床診断）に基づき、次にカテゴリーモデル（操作的カテゴリー診断）、さらに遺伝学の発展に伴い、スペクトラムモデル（スペクトラム診断）という考え方が出てきました。このスペクトラムモデルは多因子疾患とも言われ、生活習慣病の多くはこのモデルで説明できると考えられています。発症傾向（病気のなりやすさ）は、複数の遺伝的因子と複数の環境因子の相互作用によって決まります。

今回は、発達障害の中でも自閉スペクトラム症（ASD）と注意欠如・多動症（ADHD）を中心にお話頂きました。

①自閉症スペクトラム症（ASD）

日本でも増加傾向ではありますが、米国では、1975 年には 5,000 人に 1 人という稀な小児の病気という認識でしたが、現在 44 人に 1 人と、およそ半世紀で有病率が 100 倍になっています。この理由としては、疾患の概念拡大や生活習慣（食習慣）の変化による腸脳相関と発達障害との関連が原因ではないかと言われています。

大きな特徴として、社会コミュニケーションの問題とこだわりの強さと感覚への特異な反応があります。

主な特徴は以下の通りです。

・言葉を相互的にやり取りしたり、関心や気持ちを共有することが難しい

・非言語による相互的なやり取りが難しい

・ごっこ遊びや見立て遊びができない

・同一の行動を繰り返す

・変化を嫌う

・特定のものに強い関心を示したり、特定の感覚に過敏（鈍感）で、その感覚にこだわる

②注意欠如・多動症（ADHD・ADD）

大きな特徴として、不注意・衝動性・多動性があります。

主な特徴は以下の通りです。

・気が散りやすい、興味のないことや意欲のわからないことには注意が持続しない（不注意）

・待つことや我慢することが苦手（衝動性）

・落ち着きがなくじっとしてられない（多動性）

講義風景①（中村先生）

一言で ASD・ADHD と言っても色々な多様性があり、一人の個人の中でスペクトラムが重複していることがよくあります。ASD と ADHD、ASD と ID (知的障害)、ASD と DCD (発達性協調運動症) の組み合わせも多く見られます。これが発達障害の多様性（多次元スペクトラム）となり、より個々の障害の現実を見極めることが、支援にとって非常に重要となります。

発達障害を抱えている人たちは多様な二次障害として、様々な Disability（生きづらさ）を持っており、感覚・知覚（感覚過敏・鈍麻、内臓感覚）、注意（トップダウン注意、ボトムアップ注意）、認知（認知の凹凸、社会的情報の不足）、身体（協調運動障害、反復的行動、自律神経失調、慢性疲労・疼痛）、感情（不安、抑うつ、フラッシュバック、怒り）と多岐にわたっています。

中村先生は、この二次障害で特に、感覚・知覚・身体・感情というところに鍼灸が有効なのではないかと期待を寄せられておりました。

講演最後に、「発達障害に対する鍼灸治療の可能性」として各講師と参加者代表（東京有明医療大学 松浦先生、森ノ宮医療大学 尾崎先生）に提言を頂きました。

（中村先生）特に成人期以降での、不安・抑うつ・睡眠障害・感覚過敏・フラッシュバック・自律神経失調といったところに鍼灸の手が届くことをクリアに発信して頂きたい。

（石井先生）発達障害の方たちをバックアップする人たちのバックアップも必要なのではないか。

（松浦先生）エビデンス的に、ここ 5・6 年で発達障害（小児期）に対する研究も進んでおり、鍼の機序からすると脳過敏の抑制に期待できるのではないかという側面からエビデンスも徐々に増えてきている

（尾崎先生）発達障害の子どもや母親に対して両面から鍼灸のアプローチをしていくべきであり、大学でも今後、小児はりを中心とした臨床研究を進め、ぜひ開業鍼灸師との連携も含めていきたい。

以上、今回は「発達障害」にフォーカスを当て、まずは基礎知識を学び、その中で鍼灸がどのような役割を果たせるかというところまでディスカッションでき、非常に有意義な講習会となりました。（研修委員長 荒木善行）

講演②「K 式鍼灸スコアの使い方」（実技供覧）
講師：はりとお灸日月堂 院長 石井 弦 先生

6 月 40 度を超えたのは観測史上初めてと言われる日本、そんな最中、第 2 回の講習会 は 143 名を超える受講者が集まり、オンライン開催初めてとなる Zoom ブラン参加者枠を増員する運びとなりました。参加者には鍼灸師以外に一般の参加者もいたとお聞きしています。それだけ、今回のテーマに興味を持っておられるのだと、つくづく感心させられました。

第 2 講義では「K 式鍼灸スコアの使い方」というテーマで石井弦先生に、精神疾患、おもにうつ病にたいする鍼灸治療を、触診で体壁の反応を診て、腹診による圧痛を確認しながら、数値化したスコアをつけていき、治療後にどう変化したか実技を交えご講演していただきました。

私と石井弦先生との出会いは、お互い「長野式・キイコスタイル」という治療法を学び、長野式研究会 & w-key net 代表の村上裕彦先生、松本岐子先生を師事して今に至ります。

長 野式は、長野潔先生が『素問』『靈枢』『難経』『脈経』『傷寒論』など多くの古典文献を学び、また病院勤務で得られた西洋医学の知識や経験と、長年の豊富な臨床経験をもとに体系化 されたものです。松本岐子先生は長野潔先生のもとで学び、長野先生の脈診を、腹部の反応ゾーンと関連づけていき、脈が変化した時、腹部の圧痛や感覚が同様に変化することを突き止め「キイコスタイル」として確立されました。中村元昭先生の講義での話にもあったように、中村先生がボストンで腰を痛めたときに、松本岐子先生の治療を受け、鍼灸の凄と松本先生に感銘を受け、K 式鍼灸スコアが生まれたと言っても過言ではないでしょう。

当時、中村先生が主任を務めた神奈川県立精神医療センターで、うつ病の研究の中で鍼灸対象となる患者様を対象に、K 式鍼灸スコアを用いて長野式・キイコスタイルによる鍼灸治療を施しておりました。

さて、今回の講義内容は、

・K 式鍼灸スコアで使用される身体各部の圧痛所見の意味、また対応する治療点

・K 式鍼灸スコアを用いた治療手順と施術前後におけるスコアの変動と評価を中心に押圧や刺激に関する内容で、ご教授していただきました。

一部をご紹介しますと、頭部瘀血スコアとして百会の圧痛の測定を、「感じない、気持ちいい」を 0 として、「痛いと言うまで間がある」を 1、「反射的に痛いと言う」を 2、「反射的に 回避的な動作や声を発する、強く痛みを訴える」を 3 としてポイント化していく。また手の甲で熱感を測定し、0: 感じない。1: 被験者の頭部において他部位との比較で局所の熱感を感じる。2: 熱として明確に感じる。被験者も熱を訴える。といったように様々な角度で反応を取っていく。

ここですべての K 式鍼灸スコアを紹介したいところだが、そこは忙しい最中、受講していただけた先生方の特典としたい。研修会委員として、特に会員に訴えたいのは、このような研修会が毎回 1,000 円で受講できるのは会費を払っていただけている会員の特典かと思います。そして、会費を払ったとして当日参加出来なくとも、アーカイブ動画を見ることができます。しかし、後日アーカイブ動画だけ見たいというご希望には添えませんので、申し込み締め切りまでにお手続き済ましていただきたいと思います。

まだ 2 回終わったところです。第 3 回以降も内容の濃いテーマとなっておりますので、これからも研修会をお見逃しのないよう、よろしくお願いします。

（青年委員長 研修会副委員長 清藤直人）

講義風景②（石井先生）

事業実施報告

河南地域 小児鍼・擦過鍼 体験会

日時：令和 4 年 7 月 14 日 木曜日 13：30 ～ 15：00
実施場所：羽曳野市 保健センター
参加者：左川 清次、 米谷 眞至
事業成果
「小児鍼 体験者 」 … 0 名
「擦過鍼 体験者 」 … 3 名
※コロナ新規感染者が増加傾向にある中ではありましたが、昨年に比べると会場に足を運んで下さる人数も増えてきており手応えを感じる事ができた体験会でした。
以前は「小児はり」の体験者の方が多かったのですが、最近は「擦過鍼」の体験者が多くなる傾向が続いております。

高槻地域 研修会のお知らせ

『アスリートをケガから守り、勝たせるコンディショニング』（実技あり）～トレーナー活動からみた東京オリンピック～
★講師 寺田貴一先生（富田町病院 PT）
★日時 8 月 28 日（日）13:00 ～ 17:00
★場所 高槻クロスパル 201 会議室
★講習費用
学生 1,000 円
会員 2,000 円
会員外 3,000 円
★連絡先（申込み先）
kitakuni2006@docomo.ne.jp
★講習内容
「アスリートを勝たせる為にトレーナーがある」と断言される寺田先生が、勝たせる為に必要なノウハウを隠すことなく教えて下さります。
水泳トレーナーの長い経験に裏付けされた、選手の評価方法から徒手技術までを、座学と実技にて講習して頂きます。
また、東京オリンピックのトレーナー活動でのお話し、裏側もお話し頂きますので是非ご参加ください。



なんでも投稿コーナー かんむし百会

子どもを対象とした鍼の技法として、江戸時代から関西で盛んに行われ歴史とともに確立されてきた「小児はり」。
施術のコツ、鍼灸院での利用法、その他「小児はり」まつわるベテラン臨床家のお話を聞いてみませんか。
本会会員の谷岡賢徳先生主催の研修会です。いかなごう 139 号にも詳細掲載しております。

第一回 かんむし百会
ベテラン小児はり臨床家集合
日時：2022 年 9 月 11 日（日） 午前 10 時～午後 4 時
場所：八尾市立プリズムホール
内容：1. 小児はりのコツ

2. こうして小児はり来院数を伸ばした
3. 初心者の頃の失敗・苦労したこと
4. 思い出深い症例・質疑応答など

講師（敬称略）：小野奈津美、首藤順子、森山富代、四元智己
募集人数：70 名
参加費：医師・鍼灸師 8,000 円 学生 3,000 円
申込み：kanmushi.100e@gmail.com

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 主要行事予定表（7月20日現在）

1. 令和4年8月予定		
日時	主要行事	場所
5（金）	会費引き落とし日	
8（月）15：00～	生保労災審査会・相談会	会館2階
14（日）10：00～	霊枢勉強会夏季特別講義	会館3階+WEB 配信
28（日）10：00～	ろうあ者スポーツ大会	長居障害者スポーツセンター

2. 令和4年9月予定		
日時	主要行事	場所
8（木）15：00～	生保労災審査会・相談会	会館2階
8（木）19：30～	第4回 正副会長会議	会館2階
11（日）10：00～	霊枢勉強会	会館2階
11（日）10：00～	第4回 理事会	会館4階
10（土）～11（日）	吹田みんなの健康展	メイシアター(吹田市文化会館)

3. 令和4年10月予定		
日時	主要行事	場所
5（水）	会費引き落とし日	
6（木）15：00～	生保労災審査会・相談会	会館2階
9（日）10：00～	霊枢勉強会	会館3階+WEB 配信
9（日）13：30～	第3回学術講習会	会館3階+WEB 配信